令和８年度　登山リーダー冬山研修会　開催要項

１　目的

冬山登山に必要な基礎的技術や基本的状況判断力を習得するための研修を行い、チームを率いて安全で確実な登山を実践できるリーダーを養成する。

２　主催

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所

３　後援

スポーツ庁

４　協力

公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会

５　期間

令和９年２月 21 日（日）～令和９年２月 26 日（金）の６日間

６　場所

⑴　宿泊施設

山野スポーツセンター

〒930-1452　富山県富山市本宮 12

⑵　研修施設

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所

〒930-1405　富山県中新川郡立山町芦峅寺ブナ坂６

電話：076-482-1211　E-mail：tozanken-info@jpnsport.go.jp

⑶　入山エリア（予定）

独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所周辺山域

※富山県・鍬崎山及び大品山を中心に活動します。

※天候等により入山エリアを変更することがあります。

７　参加対象・募集人数

⑴　参加対象

ア、イ及びウのいずれも満たすこと。

ア　登山活動を行うクラブやサークル、団体等に、１年以上所属していること。

イ　所属団体の所属長等（大学長、会長、教育長、学校長等）が推薦する、以下のいずれかの者であること。

1） 大学の登山活動を行うクラブやサークル等で活動しているリーダー又はリーダー候補者
2） 都道府県山岳連盟（協会）等で指導的立場にある者
3） 高等学校・高等専門学校の山岳部等で指導する教職員等
4） 大学の登山活動を行うクラブやサークル等の指導者（顧問・コーチ）
5） 山岳遭難救助組織に所属する者

ウ　一定の体力を有していること。

※　研修会では、２泊３日分の装備・食糧等（25kg 程度）を背負って入山し、各種研修を実施します。①及び②をクリアできる程度の体力及び登山経験が求められますので、参加申込時に留意してください。

①　5,000m走のタイムが、25 分以内であること。

②　軽装(日帰りの一般登山道を想定した装備)で、1 時間に標高差 400m以上登高できること。

⑵ 募集人数

24 名

８　講習会の日程及び内容

日程	内容	研修場所
２月 21 日（日）	受付開始（７:30 から）　開会式、講義、班別研修等	国立登山研修所及び周辺山域
２月 22 日（月）	講義、班別研修、班別協議等	
２月 23 日（火）	入山　（山中にて）班別研修	
２月 24 日（水）	（山中にて）班別研修	
２月 25 日（木）	（山中にて）班別研修　下山　班別協議	
２月 26 日（金）	総合研修、班別協議、閉講式　　解散（12:30 頃）	

※　詳細な日程及び内容は、別添１（国立登山研修所ウェブサイトにも掲載）をご参照ください。

※　天候その他の事情により、下山日が変更となる場合がありますので、あらかじめ御了承の上、お申し込みください。

※　２月 20 日（土）前泊希望の方は、参加者選考・参加承認後のご案内時にお申し込みください。

９　個人装備

別添２（国立登山研修所ウェブサイトにも掲載）を参考にしてください。

10　参加申込方法

⑴ 所属長等が、参加希望者を推薦して、お申し込みください。

⑵ 国立登山研修所ウェブサイトに掲載する申込フォーム（令和８年 12 月 21 日（月）掲載予定）から、推薦者の所属機関の事務担当者が必要事項を入力し、必要書類をアップロードの上、お申し込みください。

⑶　別添３「参加申込者個人票」（国立登山研修所ウェブサイトにも掲載）を参照の上、参加希望者本人に必要事項を入力させたＥｘｃｅｌファイルを、推薦者の所属機関において取りまとめの上、お申し込みください。

⑷　申込期間：令和８年 12 月 21 日（月）～令和９年１月８日（金）

11　参加者の決定

⑴　国立登山研修所において、参加申込内容をもとに選考の上、参加者を決定します。

⑵　参加可否については、電子メールにて、令和９年１月下旬を目途に通知します。

⑶　参加承認者には、健康診断書の提出、傷害保険申込等に関して事務連絡を行います。

※　健康診断書の提出に必要な経費は、参加者の負担となります。

※　天候や感染症の拡大等により研修会を中止した場合でも、主催者側では負担しません。

12　参加費用

内訳	金額
⑴　山野スポーツセンターにおける宿泊料金（全日程分） ※２/20（土）前泊者は、別途 1,540 円かかります。	4,620 円
⑵　山野スポーツセンターにおける朝食・夕食料金 ※１日目・２日目・５日目夕食各 1,300 円、２日目・３日目・６日目朝食各 900 円	6,600 円
⑶　国立登山研修所における施設利用料（全日程分）	1,000 円
⑷　昼食（弁当）料金（※１日目・２日目各 1,300 円）	2,600 円
⑸　傷害保険料（任意） ※公務災害、ご自身の山岳保険等で対応される方は、申込の必要はありません。	4,000 円 又は 5,000 円 ※参加者で選択
⑹　幕営研修中の食費 ※３日目夕食、４日目朝食・夕食、５日目朝食） ※カレールウ等の食材購入リストを国立登山研修所で用意し、研修会初日に、班ごとに検討・選択したものを、国立登山研修所スタッフが買い出しに行きます。	4,000 円程度 （予定）

※　⑴～⑸に係る費用については、受付時に一括して徴収します。お釣りのないよう、あらかじめ現金で御準備ください。

※　⑹に係る費用については、班ごとの食材購入リスト提出時に徴収します。班員間で精算しやすいよう、千円札及び小銭を多めに御準備ください。

※　行動食については、３日分（３日目から５日目までの昼食分を含む。）に加え、予備１日分を各自で準備してください。

※　２月 23 日（火）から２月 25 日（木）までの期間は、富山県大品山周辺において、テント泊又はビバークを行います。また、期間中の夕食及び朝食は自炊とします。

13　参加申込の取消しについて

参加申込後、やむを得ない事由により参加を辞退する場合は、推薦者の所属機関の事務担当者から国立登山研修所へ、辞退理由等を速やかに連絡してください。

※ 参加希望者本人からの参加辞退の連絡は受け付けません。必ず推薦者の所属機関の事務担当者を通じて連絡してください。

14　その他

⑴　参加者本人による写真及び動画の撮影は禁止とします。特に、ヘルメットに装着したアクションカメラによる撮影や、行動中のスマートフォン等による撮影は、事故につながるおそれがあるため行わないでください。

⑵　主催者及び講師が撮影又は録画した写真・動画については、広報活動、事業報告書、研修資料等に使用する場合がありますので、あらかじめ御了承ください。